

令和2年度学校自己評価システムシート (県立本庄高等学校)

目指す学校像	活力ある進学校～個性を伸ばし、世界にはばたく「高い志」を持った生徒の育成～
--------	---------------------------------------

重点目標	1 質の高い学びを実現する教育課程の編成と授業の工夫改善を図る。 2 学校行事、部活動の活性化と、第1志望を実現する進路指導を充実させる。 3 国際理解教育と、地域に開かれ信頼される学校づくり
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	7名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	9名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			実 施 日 令 和 3 年 2 月 1 9 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	○大学入試改革に対応し、且つ進学実績の向上を目指す質の高い学習支援を進める将来を見据えた学校運営体制を構築 ○新学習指導要領への移行を踏まえた授業改善の推進。 ○協調学習を含む教職員の授業力向上に向けた具体的な取組の推進。	①活力ある進学校として信頼される学習システムの構築	①-1 将来構想検討委員会の協議を踏まえた、進学校にふさわしい学校運営体制の構築 ①-2 授業時間の確保、進学補習の充実 ①-2 生徒の学力の適切な把握に基づいた学習支援、進路指導の充実	①-1 企画委員会を中心に学校運営体制の見直し検討が進んだか。 ①-2 生徒アンケート「補習が充実している」が前年比増加したか ①-2 外部模試を活用した分析会、解説講座等を実施したか。	①-1 ICT活用検討委員会を立ち上げ、学校運営体制の見直しを検討。 ①-2 生徒アンケート「補習が充実している」が前年比5.2ポイント増加。 ①-2 外部模試を活用した分析会、解説講座等は前年度に比べて減少。	B	新型コロナウイルス感染拡大防止対応を優先し、将来構想検討委員会は開催できなかった。今後の学校運営に欠かせない、ICTを活用した学校運営・教育活動について、本格的に検討を進める必要がある。	・コロナ禍の中、様々な事が出来なくなったり、なくなったりしていると思います。直接話し合っていないので何とも言えませんが、学校を預かる立場として、今後も連携をはかっていきたいと思います。 ・臨時休校中の動画配信・課題についてはとても高い評価をつけることができる取り組みであったと思います。学習意欲の継続など、生徒たちへのケアがとても重要だと思われます。今後とも細かなケアが必要であり必至と思います。 ・質の高い学びを実現する重点目標があるが、質の高い学びを継続することが難しい状況であったと思います。
		②新学習指導要領を踏まえた教員の授業力の質的向上	②-1 定期テストの共通化、模試分析会の実施、協調学習、ITを活用した授業の推進等、質の高い授業の実践 ②-2 センター研修を含む外部機関研修への参加奨励、教員相互の授業公開、管理職による授業観察とフィードバック	②-1 生徒アンケート「わかる授業、力をつける授業を行っているか」が増えたか。 ②-1 協調学習、IT活用授業に取り組む教員が増えたか。 ②-2 教員相互の公開授業が延べ30人を超えたか。(前年27)	②-1 生徒アンケート「わかる授業、力をつける授業を行っているか」は、7.9ポイント増加。 ②-1 協調学習は初任、各年次研修でそれぞれ実施。IT活用授業では、休業中の動画等の配信が396本。 ②-2 教員相互の公開授業は19人の教員が延べ63講座開設。	A	臨時休業中の課題や動画の配信は、生徒・保護者ともに高い評価であった。生徒の「授業・補習」に関する評価も高くなった。今後は、授業時間の確保と授業力の向上に取り組み、生徒に自学・自習の習慣を身につけさせる必要がある。	
2	○学習活動と、生徒主体の学校行事や部活動の両立を奨励し、自ら学び、自ら活動する「高い志」を育てる。 ○学年と進路指導部が連携した組織的で、きめ細かい進路指導の実現。 ○一般受験で第1志望の大学進学を目指す進路意識の育成と学力の向上を進める。	①生徒主体の学校行事と部活動の活性化	①-1 部活動参加者の増加と活動の活性化、生徒主体の学校行事の充実 ①-2 『部活動にかかる活動方針』に基づく適正かつ効率的、効果的な部活動運営	①-1 生徒アンケート「文化祭・体育祭等が充実している」が前年比増加したか。 ①-1 生徒アンケート「生徒の自主的活動が活発」が前年比増加したか ①-2 生徒アンケート「学習と部活動が両立できている」が前年比増加したか。	①-1 コロナ禍で文化祭を中止し、体育祭は実施。充実度は前年比1ポイント減少。 ①-1 休業、部活動制限があり、前年比0.9ポイント減少。 ①-2 生徒アンケート「学習と部活動が両立できている」が前年比1.3ポイント増加。	B	コロナ禍の影響もあり、生徒の主体的な活動が制限された。学習・部活動・学校行事の充実、学校教育活動の根幹である。まずは、新型コロナウイルスの感染拡大防止に全力を尽くし、教育活動の円滑な推進を図る。	・コロナ禍の影響で、部活動や学校行事がかなり制限されたが、生徒主体で進める取り組みが、「本庄高校に入学してよかった」のポイントが高いことにつながっていると思う。 ・コロナ禍で延期、自粛を余儀なくされた。生徒たちの楽しみが減ってしまいとても気の毒に思う。 ・生徒と保護者の意識に差はあるが、先生方は(学校は)生徒の進路指導を丁寧に取り組んでいるように感じる。 ・すばらしい評価を受ける本庄高校ですが、生徒の学習への自覚が希薄ではないかと思う。その中で先生の力をつける授業、学校での補修又進路指導大変重要だと思いますので重点的に取り組んでもらいたい。
		②第1志望の進路を実現する進路意識と学力の向上	②-1 きめ細かい科目選択指導・個別指導実施と、入試改革に伴う的確な進路情報の提供 ②-2 生徒の実情把握と進路検討会による適切な進路指導、学年・進路指導部を中心とした組織的・計画的な進学補習の充実	②-1 生徒アンケート「進路指導はきめ細かい指導か」が前年比増加したか。 ②-2 自分の進路決定先に満足・ほぼ満足した生徒が8割を超えたか。	②-1 新制度下での入試、コロナ禍での進路指導となったが、生徒アンケート「進路指導はきめ細かい指導か」が前年比4.2ポイント増加。 ②-2 指定校・総合型選抜の生徒が多く、一般入試は残しているが、自分の進路決定先にほとんどの生徒が満足している。	B	進路指導については、本校の進学実績に期待する保護者の記述もある。また、進路指導のきめ細かい指導について、生徒と保護者の意識に10ポイント以上の差がある。新制度の入試に対する不安などに応えられる説明と進路補習の充実が課題である。	
3	○世界を舞台に活躍する意欲を育てる国際理解教育の充実。 ○中学卒業生徒数の減少を踏まえた組織的・計画的な生徒募集の実現 ○PTA後援会、同窓会、並びに地域との連携を強化し、中学生や保護者、県民の期待に応え、生徒や同窓生が自信をもって誇れる「活力ある進学校」の実現。	①世界を感じる国際理解教育の推進と自ら学ぶ学習意欲の向上	①-1 オーストラリア姉妹校との連携の継続(夏季海外研修・ターム留学、研修受入等の継続)、と安全確保 ①-2 アクティブラーニングの主体的学びを促す授業実践の充実	①-1 海外研修・ターム留学が生徒の安全確保の下に実施できたか。 ①-2 生徒アンケート「学校は生徒の個性や能力を伸ばしている」が前年比増加したか	①-1 海外研修・ターム留学については、新型コロナウイルスの影響で実施できなかったが、オンラインによる交流を希望者で3回実施。 ①-2 生徒アンケート「学校は生徒の個性や能力を伸ばしている」は前年比とほぼ同率。	A	海外研修やターム留学は本校の教育活動の特色の一つである。残念ながら今年度は実施できなかったが、オンラインでの交流は出来た。引き続き国際理解教育を充実させ、高い志を持ち、グローバル社会に生きる生徒を育てていく。	・本庄高校はとてもいい学校なので、そういった魅力がもっと伝わるような、HPの作成を希望する。 ・新型コロナウイルスのため、変則的授業で、学業に影響が出ていると思いますが、本庄高校一丸となって努力していただければ幸いです。 ・創立100周年事業の推進に係る取組については、同窓会と協力して成功させたい。